

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	くらすびつつkids			公表日	2026年 3月 16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	二部制なので、一度に行う支援は少人数となる為、十分なスペースがある もう少し広い場所が確保できたら運動や課題など出来る ことが増やせるのかなと思う 活動しやすいように周囲には物を置かないなど気をつけている	元々の面積が少し狭いため、ものの配置など色々と工夫をしながら危険なく活動できるよう模索している。4月からは今の相談室も支援室として使用できるように改装しており、少しでも広く過ごせるようにしていく。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	利用人数の調整をしている 二部制なので、少人数である為、それぞれの子どもに合わせた対応が出来る 研修や訪問などで人員が少ないときはバイトさんなどで補うようにしている	基準配置は常時満たしている。 訪問や加算の関係上バイトも活用しているが、これも4月からはスタッフ増員のため十分な人員体制で運営していくことができる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	バリアフリーではない場所もあるので、必要な利用児が来所したときには改善が必要になると思った バリアフリーではないので、車椅子の方などが利用する際にはスロープが必要になってくる 玄関に低い段差があるのみで1フロアの過ごしやすい環境となっている	現在はバリアフリーでない場所もあるが、車椅子の方など必要なケースに合わせてスロープを置くなどその他環境調整を随時行なっていく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動の後に毎回消毒をしている 机や椅子はすぐに移動できるので活動に合わせて動かしている 毎日部屋の掃除をしたり、使った支援道具を消毒している。 玩具も分けて収納されている 毎日清掃と消毒を行い清潔に過ごせられている	日々感染対策を行い、支援員だけでなく、玩具も定期的に消毒や空気入れ替えを行い、心地よく過ごせるように今後も継続して行なっていく。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	毎日、ミーティングを行い、職員間で同じ対応ができるようにしている 出来ている部分となかなか進めていない部分がある 毎日ミーティングで目標を伝えあい日々の成長に繋げている 個々に時間を設けて行っている	子どもの状況に合わせ、バーテーションなどで区切り、落ち着ける環境に整えたりしながら支援を行っている	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々話し合いがある 保護者の意向を真摯に受け止められている ご意見でいい所は続け、気をつけなければいけないところはすぐに改善できるようにつとめている	毎月個々での目標をきめ、業務に取り組み月はじめには振り返りも行うようにしている 職員全体での研修も続けていく	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	日々話し合いがある 保護者の意向を真摯に受け止められている ご意見でいい所は続け、気をつけなければいけないところはすぐに改善できるようにつとめている	毎年ホームページに公表している 保護者の意見は真摯に受け止め、改善できる点を職員間で話し合っていく	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	毎日のミーティングで情報共有したり、話し合いをしている 毎日のミーティングの中で共有の時間を作れている 日々のコミュニケーションを大切に取行われている 毎日のミーティングや、代表との面談をすることで意見を伝えることができている	毎朝のミーティングでも意見交換したり、支援準備の合間にも気になる所や確認したいことをその都度確認できている 今後も継続しつつ、より良い環境を作っていく	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修を行うことで、知識を深めたりスキルアップできるようにしている 研修は多く深く考える有意義な時間となっている 様々な研修が行われ向上心を持って向き合っている 様々な内容の研修をしている	外部研修にもできるだけ参加して報告研修をしたり、事業所内研修もかなり充実させている点が弊社での強みである。今後も職員が成長でき充実した時間が過ごせるよう工夫を行なっていく。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	0	細かくねらいもあり個々に応じて支援プログラムが作られている プログラム通り進んでいる 保護者、職員間で共有し公表されている 同じように重ならないように考えている 個別の課題に応じて作成している 記録なども保護者が見たいときに見えるようにお伝えしている	弊社独自のプログラムや支援のための仕組みを整えており、全職員が共通認識をもって、誰がどの支援に当たっても支援の質が担保できるようにしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	日々のコミュニケーションも大切に適切に作られている 日々のコミュニケーションを大切に、アセスメント時話しやすいよう行っている ニーズを常に話し合っている 計画の更新前には必ず個別でお話しする機会をつくらしたり、日々の支援のフィードバックでもそのときそのときの状況をお聞きしている	利用時には毎回事業所での様子を伝えたり、現在の課題や成長も細かく伝える時間を設けている。 保護者からも家庭の様子を聞き取り、新たに課題が出てきた時にはすぐに支援に導入したり、職員間で話し合ってから迅速に対応している。 また、計画の更新が近づいたときには、個別で時間を設け、より詳しく聞くようにしている。	

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ミーティングやその記録を残すことで職員間での情報共有ができています 子供に関わることは共有しあい同じ認識であるできています 毎日話し合う時間を作っており全職員共通理解できている 支援に入ってくれている人にも今の状況やすべきことを聞いたり、記録の見直しして作成するようにしている	気になるところは支援に入っている職員に聞いたりしながら作成できている。 今後は全体での時間を時間を作ってより深く話し合った上で作っていききたい。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	共有の時間はしっかりとあり、全員それに基づいて支援を行っている 話し合う機会がある 支援計画を踏まえて取り組んでいる 計画説明をミーティング内で説明し、共有している 記録のシートを更新する際に計画書を見ながら反映させている 新しく計画をたてた後は、ミーティングで共有している。	計画作成をし、保護者から了承したものをミーティング時に職員に伝え、支援に反映していくようにしている 支援記録のファイルには計画書も一緒に保管しており、常に計画を意識しながら支援に取り入れられるように再度周知していく。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	ミーティングで振り返りを行い、前回の状態などを職員全員で把握できるようにしている	アセスメントではフォーマルな様式を用いており、日々のミーティングからも常任フォーマルなアセスメントを行なっている。 アセスメントを行った際にはミーティング時に職員に伝えるようにしている。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	活動一つ一つにねらいをつくり、それを意識しながら支援している 本人のみならず関わる家族も支援を念頭におき適切に行えている ペアトレーニングなどある 計画書の内容も反映しながら支援したり、利用時には毎回保護者と話をするようにしている	今後も個々に合わせた支援内容を確認しながら作成し、必要に応じて進められるように設定していくことを心がけていく
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	運動などの活動プログラムも様々なものを組み込まれている 新しいものをとりいれている 毎日工夫しさまざまなプログラムを取り入れている 運動やゲームなどは毎月変えるようにし、色々な活動に参加できるようにしている	個々のプログラムもずっと同じにならないように振り返ったり、進んでいない時には分析し、いろんな工夫をしながら方法を模索している。 今後も固定化した支援の進め方にならないよう工夫していく。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	こどもそれぞれに合わせて支援している 個別ではそれぞれの課題に向き合い、集団では一斉活動に取り組められるよう支援を行っている 個々でプログラムをかえている なるべく個別の部分と関わり部分と両方行えるようにしている	全体での活動時には利用児の曜日に合わせて活動を考えたり、同じ動きの運動や同じルールのゲームにならないように気を付けながら考えている
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝のミーティングで役割の確認をしている 支援前のミーティングは毎日充分な時間をとって行っている 打ち合わせを毎日している 毎日時間を作って常に連携できている 毎朝ミーティングで行っている	毎朝前日の振り返りのミーティングをおこなったり、支援準備時にも前朝戻った部分を職員同士で共有しながら話し合い、すぐに反映させている
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終了後は毎日それぞれの記録を残し共有している 気になるところは情報共有がある 気になるところ職員全体で振り返り、共有し、いない職員には日報や口頭で伝えていく 突起事項は伝えたりすることもある	特記事項の出来事はすぐに伝えたり次の日のミーティング時に共有できるように共有ノートに書くようにしている。 今後も続けていく。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	細かく記録することで、次回の支援に繋げている 怠ることなく記録し細かなことも共有しあっている さまざまなねらい一つ一つに対して細かく記録が取れている セッション終了後には必ず記入して終わらせている 次に誰が入っても分かりやすく確認できるように記録をつけている	弊社独自の記録シートを用いて、社内の誰が見ても同じ支援が行えるよう工夫している。 職員にもわかりやすく記録をのこすように心がけるようにする。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	支援をしてきている職員にも状況を聞いて作成している	日々の保護者とのフィードバック時に話したことを共有し合ったり、モニタリングを作成するときは、最近担当した職員に状況を確認している。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	できている あまり行っていない	現在はなかなか担当者会議が開かれるような機会は少ないが、積極的に他機関にも働きかけていき、関係機関とのやり取りできる場所をもっと増やしていきたい
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	常に連携し何かあった時はすぐ連絡できる環境である 保育所等訪問や、気になるところには連絡させていただき、情報共有を させている 保育所等訪問支援を行なっている園や状況に合わせて相談員さんと話をしたりしている	保育所等訪問支援を行っている保育園・幼稚園・小学校などは定期的に連携がとれているが、それ以外の関係機関とも積極的に連携が取れるようにしていきたい。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保育所等訪問や他事業所との連携をとり情報共有しあいサポートしている 園で行うことが難しいことを事業所でも行えるようにしている	保育所等訪問支援を行っている保育園や幼稚園とはお互いの情報共有を行えているが、行っていないところとは共有できていないので、進めていきたい。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	環境の変わる子どもに配慮ある支援が行われるよう連携できている 学校や保護者の意向もあつたりするので、スムーズに進められたり難しかったりする部分もあるのかなと思う 保護者を通して情報共有がある 支援シート作成を望まれている方には書類の作成は行なっているが直接学校とのやり取りまではできていない	保護者の方の意向により就学前支援シートを作成し事前に伝えるようにしている 直度これからがその時期なので、就学する児童の就学先には保護者に確認をとった上で情報共有を行なっている。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	相談員さんと話す機会はある	センターに利用している方とは連携を取りながら進める。 はあるが、頻繁には行えていないので、密に取っていききたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	保育所等訪問がある 少ないのでもう少し地域の子どもたちとの交流があつてもいいのかなと思う 年に一度地域の方も含めての夏祭りのイベントを行なっている	年に一度イベントを通して地域の方と交流する機会を設けている。 保育園、幼稚園とはまだまだ十分に交流がもてていないので、地域の方と触れ合える機会を増やしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	お迎えの際に、こどもの様子や行ったこと等を伝えている 毎日保護者とのフィードバックの時間をとり些細なことも口頭で伝えあつたり又記録を残している 保護者の方への傾聴の姿勢を大切にしている 送迎時にお話しさせていただいている 気になることがある際は、時間をとって相談に応じている	保護者に送迎を行つてもらっているため、保護者の方と事業所での様子を話したり、適切なアドバイスがすぐにできる。 今後もそのためにスキルアップが必要だと感じた。 難しいときには職員間で話し合い早急に伝えられるように心がけていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	定期的に行われている 保護者を集めての研修する機会は少なかつたりするので、もう少し広めていき知ってもらえるといいのかなと思う 保護者が知りたいや教えてほしいと言う方は参加していただいている	家族支援やペアレントトレーニングをよく活用してくれている方もいれば、契約時に説明しただけで、活用方法がよく分かっていない方のいるので、定期的に分かりやすく説明できるようにしていきたい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	分かりやすいよう丁寧に伝えている 契約時には詳しくお伝えしてから契約を行うようにしているが、日が経つと忘れてしまっていることも多いので、繰り返しお伝えする必要があると感じている	契約時には詳しく説明しているが、月日が経つと忘れてしまうこともあるので、保護者の方が困っている時など、必要なタイミングでも随時わかりやすく説明できるようにしていきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者と定期的な面談を行い確認できている アセスメントをとるときに事業所の意向と保護者の意向をなるべくすり合わせるようにしている	保護者の方とはゆっくり意向を聞くことができているが、今後は就学時の受け入れも行っていくため、利用児の思いも聞きながら一緒に計画を作成していきたいと考えている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	計画書の作成の際には保護者の方に了承を得てから始めるようにしている	作成後は早めに保護者の方に説明できる時間を作ってもらい詳しく伝えるようにしている 引き続き行っていく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	行き詰まっているような場合は声をかけて、又それ以外でも定期的に必要に応じて行っている 定期的に行っている方もいれば、中々話せていない方もいるので全員の保護者と満遍なく行えるようにしていきたい	日々の送迎時にフィードバックできる時間を設けていることで、保護者の方の話や事業所での練習が必要なこともすぐに伝えられるようにしている 定期的に面談も行っている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	保護者同士の交流は行っているが、兄妹同士で交流する機会はなく必要に応じて行なうべき課題である 開催できて回数がまだ少ないので、保護者同士の交流を増やせたらと思う 回数はすくないが相談会などを開催したりしているが、平日の午前中にすることが多いので、たくさん集まるのは難しい	父母の会はあまり行っていないので、数回だけでなく定期的に続けられるように開催していきたい。 来年度は全体的に保護者同士の関わり合える機会を増やしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	都合の良い時を伺い不安が大きくなるらないためにも迅速に行っている 話し合う機会がある 相談等あつた場合は真摯に向き合い迅速な対応を心がけている その日のうちに解決できることはすぐにアドバイスしたり、時間が必要な時には個別で相談できる時間をなるべく早く設けるようにしている	保護者からの相談があつた際には、ミーティングで共有したり、解決に向けじっくり話せる機会が必要な際には面談の日を設定して、話し合いができる時間を作るようにしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	Instagram、LINEなどでできている SNS等を利用していつでも情報を見てもらえる体制ができている SNSは積極的に発信している snsなどに活動内容や研修などを投稿するよう行なっているが時期によって中々投稿できていないときもある	支援の様子や事業所での出来事をSNSにアップし、保護者の方にも見てもらえるようにしている。 イベントや情報などは、LINEチャットを使い、お知らせしているの続けていきたい。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	保護者に確認している書類管理はもちろん、意識を高くもちとりおこなえている写真や動画の投稿時には撮影が難しい方もいるので、隅々までチェックして編集する必要があると感じた	利用児の名前や書類などはなるべく見えないところに置いたり、一時保管をするときには伏せておくようにしている。出来ていないところは職員同士が気づきあい、それぞれが意識持って行えるようにしていきたい。個人情報の取り扱いでは保護者からの意見もあり、今後はより徹底しながら活動の様子を届けていきたい。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	できるだけ分かりやすく伝わるように話している	専門用語を使わず内容を知らない保護者の方にも伝わりやすい言葉で説明するように意識していきたい
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	事業所の案内は作り知ってもらおうとできているが地域住民を招待したことはなかったため今後の課題であるイベントや説明会の機会がある 昨年の夏に地域の方を招いて夏祭りを行った 夏祭りイベントは地域と方も呼んで参加できるようにしている	年1回のイベントと、事業所説明会くらいしか地域交流が行えていないので、色々な企画を考えていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを用いて研修、訓練を行い振り返りもできている 研修会に行っている 年に何度か行い、行う前と後には張り紙やLINE等で知らせるようにしている	訓練は定期的に行っているため、その都度どういう風に行ったのかを詳しく伝えられるようにしていきたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	あらゆる場合を想定し訓練を行えている 避難訓練している 職員全員で訓練や備蓄の確認などを行なっている	大震災に備え細かく決めたり、訓練も行っていくようにする
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	来所時保護者から聞いている 契約時には必ず確認するようにしている 途中で服薬などが始まった際には伝えてもらうようにしている	利用途中で服薬をし始めるときがあるので、普段のフィードバックや面談などで家庭の状況をきき把握するようにし職員全体で共有できるようにする。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	重度な食物アレルギーの子どもはいないが今後出てくる場合もたため その時はしっかりと頭にいれ適切な対応をおこなつ 保護者から指定のあるもの以外口にしない仕組みになっている 医師の意見書があるほどのアレルギーの利用児がいない	盟約時やモニタリングなどでアレルギーがないか確認するとうしているものであったときには、詳しい経緯などを聞くようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全確認は全員意識をしっかりと持ち行えている 職員だけ、利用児も入れてなど色々な形で訓練をおこなうようにしている	毎年安全計画の書類の見直しを行ったり、職員間で確認するように行っているため続けていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	緊急連絡シートを保護者の方に書いてもらい常に確認できる場所に保管している	避難の経路や避難時の連絡先などをお聞きし、説明をおこなっているため、続けていくようにする
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	報告書を作成して、同じことが起こらないようにしている 共有できており今後どうしていくか改善策も出せている 起きた場合はすぐ周知し、対策等迅速に対応している 書類を作成し、職員全員に確認してもらっている	ヒヤリがあったときには、書類を作成し、職員全員が確認して再発防止に続けていくようにする
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修機会を設け全員が意識して取り組んでいる 研修を行い全職員高い意識を持ち対応できている 委員会や研修などを行なっている	委員会や虐待権擁護研修を行い、職員自身が見直すきっかけに慣れるように意識できるような研修を続けていく	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	こどもの命に関わる場合はやむを得ないが今一度話し合う機会を設けるべきことである 計画に記載し、説明を行っている 身体的なプロンプトがあることを記載し、説明を行なっ	契約時や個別支援計画などで説明をしたり、支援中に身体的なプロンプトを行ったときには、送迎時に伝えていけるよう職員間でも話し合っていく	